

平成20年2月27日

第20回昭和新山国際雪合戦参加チームの皆様
北海道・各県雪合戦連盟・協会・支部、地区大会主催者の皆様へ

昭和新山国際雪合戦実行委員会
実行委員長 松本 勉

第20回昭和新山国際雪合戦・大会2日中止の経過と今後の対応について

拝啓 平素より、当実行委員会の活動に対してご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
すでにご存じのとおり、この度はたいへん残念な結果となりました。皆様の悲しみ、無念さはいかばかばかりかとお察し申し上げます。また、実行委員会として皆様のご期待に沿えなかったことは痛恨の極みであり、深くお詫び申し上げます。
なお、この度の大会中止の経過、理由及び今後の対応等について、次のとおりご説明申し上げますので、ご理解を賜り、今後も引き続き、雪合戦の発展に対するご支援を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

1 中止に至った経過

- ① 2月24日午前4時30分頃、会場警備員が大会会場の異常を確認し、実行委員会へ通報
- ② 午前5時45分頃、実行委員会担当者が現場の状況を確認し、役員を招集。
同時に、危険回避のため、会場への入り口を封鎖
- ③ 午前7時、実行委員会役員で大会開催の可否を検討し、中止を決定
- ④ 午前7時30分から、参加チーム代表者へ中止及び緊急監督会議の開催を連絡
- ⑤ 午前8時、緊急監督会議を開催し、大会中止を通知

2 中止とした理由

(1) 雪球製造ハウス等の損壊

24日未明からの強風により会場内の一部施設が損壊し、特に雪球製造ハウスの屋根が吹き飛んだことで同ハウス内の保温ができなくなり、円滑な雪球製造ができなくなったため。
また、補修作業は強風が収まるまで行うことができず、その見込みも立たなかったため。

(2) 競技時間の確保

通常、競技開始の約3時間前から同ハウス内の暖房を開始しているが、仮に午前中に準備が整い、さらにリーグ戦をトーナメント戦に切り替え、全体の試合数を減らしたとしても、24日中に決勝戦まで終わらせることは難しいと判断したため。

(3) 選手の安全管理

暖房機の代替案として、雪に水をかけて雪球を製作することも検討したが、当日の気温・天候ではすぐに氷球になることが予想され、さらに、日中も強風が続く天気予報だったことから、競技中に突風が吹く可能性もあり、選手の安全確保ができないと判断したため

(4) 順延・延期ではなく中止とした理由

ほとんどのチームは休日を利用して参加しており、翌日への順延及び翌週等への延期とした場合、再度、昭和新山に招集することは難しいと判断したため。

3 今後の対応

すでに複数の関係者から、

- ・本大会1日目の競技結果の取り扱い（公式記録とするか？）
- ・次回大会を第20回大会とするのか（20回大会は本年で完結したこととするのか？）
- ・本大会の番付表、次回大会のシードチームをどうするのか？

等について、多数お問い合わせをいただいております。実行委員会では、3月3日の週に役員会を開催し、機関決定したうえで、公式コメントをホームページ等で周知する予定ですので、今しばらくお時間をいただけますようお願い申し上げます。

4 本件に関する連絡先

昭和新山国際雪合戦実行委員会 事務局担当：庵（いおり）

TEL 0142-66-2244 FAX 0142-66-2800

EMAIL blacky@taupe.plala.or.jp URL <http://www.yukigassen.jp/>

24日の会場の状況画像

